

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート																
事務事業名		観光情報発信事業						予算事業名		観光情報発信事業費										
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令											
				07	01	05	1105	経常経費												
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業										
		地域資源を活用したにぎわいと交流の促進																		
		地域資源を活用した観光の振興						担当課係等		商工観光課 観光係										
事業期間		継続 (年度～ 年度)																		
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】													
本市独自の観光資源の発掘、磨き上げを行い、情報発信することやイベントを実施することにより観光客の誘客を図る。実施についてや、デジタル化、DX化を意識しインバウンド需要にも対応する。							商業観光振興計画に基づき、様々な観光情報の発信、コンテンツの実施を行う。事業開始の根拠は、インバウンドや旅行需要の高まりによる。他市の状況はあまり参考とならない。													
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】													
観光資源発信業務や誘客イベントの充実化を行う。年次計画により複数年かけて、ボトムアップを達成する。 寺社、御朱印、御城印、御手杵などの独自で固有の資源と、ゲーム、アニメ、声優などといった流行のトレンドを掛け合わせ、誘客を目指す。 ARやQRコードを使用したDX化の推進を合わせて行う。							本市を訪れる観光客、市内観光スポット													
【令和 7年度 事業内容】							【令和 8年度 事業内容】							【令和 9年度 事業内容】						
・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語) ・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)							・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語) ・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)							・ 歴史に関する独自の資源を活用した事業 (3,500+1,500協会) (結城家物語) ・ 御手杵の槍を活用する事業 (5,000)						
■事業費																				
				R05年度		R06年度														
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0													
	県		支	出	金	0	0													
	地		方		債	0	0													
	そ		の		他	0	0													
	一		般	財	源	7,967	5,998													
歳入計 (千円)				7,967		5,998														
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)														
	12 委託料			7,967		5,998														
歳出計 (千円) (A)				7,967		5,998														
伸び率 (%)						-24.71														
備考	総合計画 92 ページ 予算書 143 ページ																			

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	歴史的資源を活用したイベントの実施	実施	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	当該事業費にかかるイベントの実施数	事業	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数	人	目標	500,000.00	550,000.00	600,000.00
	観光入込客数		実績	438,900.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	独自の資源を活用した観光誘客を行うことで、自治体間の競争を勝ち抜き、地元経済の活性化を図る必要性は高い。また、独自のイベントを実施することで、自治体の知名度を向上させ、好感度の上昇やふるさと納税の額の増加にも寄与する。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	自治体を持つ資料もあることや、規模の大きなイベントは自治体や、観光協会に委託することでの実施は妥当と考える。
	手段の妥当性	A 妥当である	様々なコンテンツを実施するにあたり、一定のノウハウを持つ事業者に委託をすることは妥当と考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	実施する事業により、どれだけの誘客がなされるかは未知数のため、どちらともいえない部分がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	観光客の増加が経済波及につながり、最終的には税収の伸びとして市民全体に還元されることから受益者の偏りはないと考える。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年引き続き実施することにより、本市独自の資源を活用した取り組みが認知、評価され成果が向上していくものと考えられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	結城家物語、御手杵を活用したイベントともに一定の成果が出ているものとする。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
本市独自のコンテンツの提供を行うことは、観光誘客を行う上で大きな強みとなることから、継続すべき事業と考えられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
流行、トレンドの把握、誘客層の絞り込みを行い効果的なコンテンツの実施を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

■拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

☐改善改革しながら継続

☐現状のまま継続（改善・改革なし）

☐統合・新規事業への展開

☐縮小

☐休止

☐廃止・終了

☐予定どおりの要求

☐一部改善の上要求

☐今回は見送り

☐その他の処置

方向性の具体的内容
今までは観光資源を有効に活用できていなかったが、事業実績から、結城市には歴史的な観光資源が数多くあることがわかり、これまでの事業を継続しつつ、新たな観光資源の発掘をする必要がある。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

■改善改革しながら継続

☐現状のまま継続（改善・改革なし）

☐統合・新規事業への展開

☐縮小

☐休止

☐廃止・終了

☐予定どおりの要求

☐一部改善の上要求

☐今回は見送り

☐その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。